



# オーサー・ビジット 2020

子どもたちに人気の本の著者が全国各地の学校を訪問し特別授業をする朝日新聞の読書推進企画、「オーサー・ビジット」が今年度も秋から始まります。小・中・高校の学級、クラブ、委員会などのグループで応募してみませんか。ベルマーク版は、学年単位でも応募が可能です。

## 《応募要項》 ○通常版・ベルマーク版共通

◎授業	2時限程度。学校の希望日時と作者の日程を調整し、2020年10月～2021年1月の学校の授業のある日に訪問します。
◎応募方法	著者の中から訪問してほしい1名を選び、質問やメッセージ、自分たちや学校の自慢、知ってほしいことなどを、色紙(約25cm四方)に自由に寄せ書きし、下記の応募用紙の空欄を埋めて、色紙裏に貼ってお送りください。(色紙の返却はできません)
◎応募先	〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-2-30 共同ビル神保町4階 JPIC内 オーサー・ビジット C係
◎締切	2020年7月28日(火)必着
◎訪問校決定	応募された色紙の中から、オーサー本人が1校を選びます。決定通知は、訪問先担当者に連絡をいたします。結果のお問い合わせはご遠慮ください。

○通常版	
◎対象	小・中・高校の児童・生徒 (※クラス単位での授業となります。)
◎費用	応募は無料
◎訪問する作家	池上 彰 (ジャーナリスト) 今村 翔吾 (作家) 宮下 奈都 (作家)

○ベルマーク版	
◎対象	ベルマーク運動に参加している小・中・高等学校 (※クラス単位でも複数学年でも応募できます。)
◎費用	応募は無料ですが、訪問校に選ばれましたら、3万円(消費税別、書籍代込み)をお支払いいただけます。本のタイトルは希望オーサーの著書に限りません。自由を選んでください。書籍は協力会社・日教販からの購入になります。(雑誌は除く)
◎訪問する作家	尾木 直樹 (教育評論家) 宮西 達也 (絵本作家) 山崎 聡一郎 (教育研究者)

《応募方法の問い合わせ先》

オーサー・ビジット事務局 MAIL. author@jpic.or.jp / FAX. 03-5211-7285 (24時間受付)

《ベルマーク版の問い合わせ先》

ベルマーク教育助成財団 TEL. 03-5148-7255(平日9時～17時) / FAX. 03-5148-7256 (24時間受付)

※詳細は「好書好日」(<https://book.asahi.com/>)にも掲載します。応募用紙もダウンロードできます。

----- 応募用紙 (以下記入の上、色紙の裏面に貼付ください) -----

○通常版	
◆ 希望するオーサーを1人選んで、○をつけてください。 (色紙1枚につきオーサー1名)	
池上 彰	今村 翔吾
宮下 奈都	

○ベルマーク版	
◆ 希望するオーサーを1人選んで、○をつけてください。 (色紙1枚につきオーサー1名)	
尾木 直樹	宮西 達也
山崎 聡一郎	
PTA番号 (7桁)	

◆ オーサーにどんな「授業」をしてほしいか、応募するグループの特徴・自慢したいところなど、この用紙を貼る反対の面にご記入ください。

◆ オーサーにどんな「授業」をしてほしいか、応募するグループの特徴・自慢したいところなど、この用紙を貼る反対の面にご記入ください。

学校名	
郵便番号・所在地	
校長名	全校の児童・生徒数
電話番号	FAX番号
応募する学級・学年などの名称	応募する学級・学年などの男女別の児童・生徒 男 名 / 女 名
応募担当教諭・担当者の名前	応募担当教諭・担当者のメールアドレス
訪問希望日時 (第3希望まで)	
第1希望	第2希望
第3希望	
募集を知った場所 ※ 該当に○をつけてください	
・朝日新聞 ・JPICチラシ ・ベルマークチラシ ・web「好書好日」を見て ・JPICメールマガジン ・その他 ( )	
今年度に登場するオーサー以外で、学校に来てほしい オーサーがいればご記入ください。今後の参考にいたします。	

学校名	
郵便番号・所在地	
校長名	全校の児童・生徒数
電話番号	FAX番号
応募する学級・学年などの名称	応募する学級・学年などの男女別の児童・生徒 男 名 / 女 名
応募担当教諭・担当者の名前	応募担当教諭・担当者のメールアドレス
訪問希望日時 (第3希望まで)	
第1希望	第2希望
第3希望	
募集を知った場所 ※ 該当に○をつけてください	
・朝日新聞 ・JPICチラシ ・ベルマークチラシ ・web「好書好日」を見て ・JPICメールマガジン ・その他 ( )	
今年度に登場するオーサー以外で、学校に来てほしい オーサーがいればご記入ください。今後の参考にいたします。	

# オーサー・ビジット訪問校募集中！

## あなたの学校に、あの作家を呼んでみませんか？

ただいま2020年度の訪問校を募集中！ 締め切りは7月28日(火)必着（詳細は裏面をご覧ください）。

6人の作家の著書から、気になる本をこの機会に読んでみてはいかがでしょうか。

	作家名	著作・訳本（一部抜粋）
通常版	<b>池上 彰</b> (いけがみ・あきら) ジャーナリスト	1950年長野県生まれ。NHK記者出身。世界各地を取材し、テレビ番組や朝日新聞の連載「池上彰の新聞ななめ読み」など幅広いメディアで活躍。名城大学教授、東京工業大学リベラルアーツ研究教育院特命教授ほか9大学に籍を置く。著書に『伝える力』（PHPビジネス新書）、『そうだったのか！現代史』（集英社文庫）、『世界から戦争がなくなる本当の理由』（祥伝社新書）など。
	<b>今村 翔吾</b> (いまむら・しょうご) 作家	1984年京都府生まれ。2017年、『火喰鳥 羽州ぼろ鳶組』（祥伝社文庫）でデビュー。「羽州ぼろ鳶組」や「くらまし屋稼業」のシリーズ（ハルキ文庫）で大人気を博す。『八本目の槍』（新潮社）で吉川英治文学新人賞受賞。昨年の直木賞候補作『童の神』（角川春樹事務所）は今夏、漫画化される。時代小説だけでなく、高校生の生け花バトルを描いた『ひゃっか！』（文響社）なども手がける。
	<b>宮下 奈都</b> (みやした・なつ) 作家	1967年福井県生まれ。2004年、「静かな雨」で文学界新人賞佳作入選。2007年、『スコーレNo.4』（光文社）で単行本デビュー。ピアノ調律師が主人公の『羊と鋼の森』は2016年の本屋大賞に選ばれ、映画化でも話題を呼んだ。小説『太陽の Pasta、豆のスープ』（集英社）や『誰かが足りない』（双葉社）などのほか、エッセイ集『とりあえずウミガメのスープを仕込もう。』（扶桑社）も。
ベルマーク版	<b>尾木 直樹</b> (おぎ・なおき) 教育評論家	1947年滋賀県生まれ。中学、高校の国語教師を22年間務めた後、大学教育にも20年以上携わる。法政大学名誉教授。臨床教育研究所「虹」所長として、いじめや子育ての問題を調査・研究。「尾木ママ」の愛称でテレビやラジオでも活躍。学習まんが小学生日記『尾木ママと考える！ぼくらの新道徳1 いじめのこと』『尾木ママと考える！ぼくらの新道徳2 友達のこと』など著書多数。
	<b>宮西 達也</b> (みやにし・たつや) 絵本作家	1956年静岡県生まれ。『きょうはなんてうんがいいんだろう』で講談社出版文化賞絵本賞、『ふしぎなキャンディーやさん』で日本絵本賞読者賞。『おまえ うまそうだな』は劇場アニメ化も。2015～16年にかけて全国8カ所で開催した作品展「宮西達也ワンダーランド展」（朝日新聞社など主催）には約14万人が訪れた。他に『おとうさんはウルトラマン』など。
	<b>山崎 聡一郎</b> (やまさき・そういちろう) 教育研究者	1993年東京都生まれ。合同会社Art&Arts社長、慶應義塾大学 SFC研究所所員。法教育、いじめ問題を専門に研究活動を行う。大学三年生時に大学から研究奨励金を受給して制作した「こども六法」を、5年の歳月をかけて2019年に弘文堂より出版。第54回新風賞受賞。写真家、ミュージカル俳優としての顔も持ち、劇団四季「ノートルダムの鐘」などに出演。

(\* 敬称略・50音順。著作・翻訳の一部を抜粋したものです。書店店頭に並んでいない場合もありますのでご了承ください)